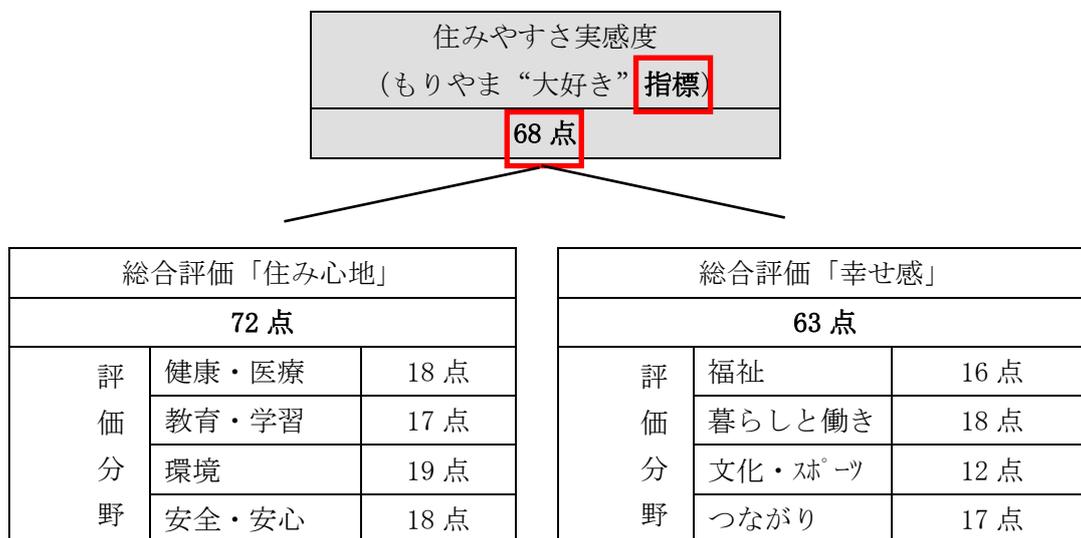


評価方法

従 来

点数表示にすることで、100 点満点中何点かといった先入観が生じやすくなる。従前は、総合的な数値を指標として点数で表していたが、この算出のために、項目数を揃える必要があり、各質問が全体に与える比重バランスが悪くなっていた。



見直し後 (案)

住みやす さ指標の 観点	評価指標	質問		実感度 (平均値)	
		主語	内容	ハートの数	数値
住み心地	健康の実感	あなたは	健康であると思いますか。	♥♥♥♥♥	4.0
住み心地	運動の実施	あなたは	普段の生活のなかで体を動かしたり運動したりしていますか。	♥♥♥♥♥	4.5
住み心地	医療の充実	守山市は	必要なときに安心して医療サービスが受けられるまちですか。	♥♥♥♥♥	4.0

各質問の実感の度合い（評価指標）を総合計画の成果指標・活動指標として活用できる。第5次総合計画では、下記のようにアンケート結果を活用していた。

5年後の目標 (成果指標・活動指標)

指標名	単位	現状値		目標値	備 考
		平成26年度	平成32年度	平成32年度	
自治会人権学習会の参加者数	人	5,478	6,300	参加者数の拡大を図る (45人×3回×70自治会)	
ここ数年で差別を受けたことがあると答えた市民の割合	%	5.3	3.0	アンケートより	
部落差別を許さない意識 ※5年に1回の調査	%	72.7	85.0	同和問題に関する市民意識調査より	
人権講座の参加者数	人	705	750		
平和のよさこひ発表会参加者	人	320	360	目標値：45人×8日	
ここ数年に平和の大切さを実感したことがある市民の割合	%	71.0	90.0	アンケートより	

【関係課・室】 人権政策課、人権教育課、商工観光課、契約検査課

【関連計画等】 守山市人権尊重のまちづくり総合推進計画（平成23年度～平成32年度）、同和対策基本方針、人権・同和教育基本方針、
「のどかな田園都市守山 平和都市宣言」（昭和63年12月）